建築作品賞受賞作品紹介

最優秀賞

コートヤードのある家

敷地は安曇野市豊科。 公民館や博物館、大型商業施設などが近くの角地に位置しており、プライバシーを確保しながら愛車を居室から見渡せ、また洗車やメンテナンスもできる作業スペースの配置が空間計画に求められた。

「内と外を繋ぐプライベートな光をつかまえる」。交通量の多い商業地、周辺からの視線を遮る配置に、風が抜ける調光ブレードを設えた光庭は、居室吹き抜けの大きな窓と縁側・内玄関のアプローチへと繋がり、愛車のメンテナンス、アウトドアリビングなどの私的空間として建主の個性豊かな暮らしを実現している。

「コートヤードを囲む３つのボックス」。『ＳＯＵＴＨ ＳＩＤＥ』にはシースルーのインナーガレージと道路からの視線を遮る腰壁で囲まれた物干しルーフテラス。『ＷＥＳＴ ＳＩＤＥ』にはコートヤードと繋がるピロティスペースの外部境界に可動式遮光アルミブレードを設え、風と光（目線）を操作できる半外空間を創ることで閉塞感のないコートヤードを実現した。『ＮＯＲＴＨ ＳＩＤＥ』にはコートヤードと接する縁側デッキをリビング・ダイニングのたまりに繋がり各室へ流れる動線・配置とした。

時間とともに変化する家族構成と居住スタイルに柔軟な対応が可能であり、次世代に繋がる持続可能なデザインと建築性能をあわせ持つ「末永く愛される家のかたち」を建主とともに追求した。

建　設　地：安曇野市豊科
構造・規模：木造２階建て、延べ床面積150.80㎡
工 事 期 間：平成20年７月～平成21年３月

設計者：小川原設計 一級建築士事務所
所長　小川原 幸雄

平成23年度 建築作品選考委員会 総評

建築作品選考委員会　委員長　柳 澤　孝 彦
㈱柳澤孝彦＋ＴＡＫ建築研究所

選考対象作品数は６件と昨年の作品数を下まわり、内訳は住宅４件（改築１件を含む）、保育園１件、事務所１件で種別も少なくやや低調のきらいが否めない状況であった。

最優秀賞に選ばれた「コートヤードのある家」は、かならずしも有利でない立地の特性を多様性と特徴のある空間構成へと転じた設計力がある種の地域性を獲得している秀作として審査の最後まで、選考委員の推選を維持したものであった。

今や未曾有の東日本大震災による壊滅的な被災状況が引き続く最中、無辺の自然の中に敢えて人間の存在を確かめる意志をどのように標すのかが問われているのではないかと思いつつ、おのずと力の入った選考となった。

この度の選考対象作品に注がれた全ての設計者の英知に敬意をはらうとともに、貴重な建設の機会を与えていただいた建築主各位に心より感謝の意をあらわし、最後に社団法人長野県建築士事務所協会の発展と会員の益々のご活躍を祈念し総評とする。